

# 新庄市母子保健計画

## (中間評価)

令和3年3月

新庄市

# 目 次

## 第1章 「新庄市母子保健計画」の基本的事項

1 基本理念・基本方針.....	1
2 計画の体系.....	2
3 計画の期間.....	2

## 第2章 中間評価の実施内容

1 目的.....	3
2 方法.....	3

## 第3章 成果指標の中間評価

1 目標1「妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる」.....	4
2 目標2「子どもが健やかに育つことができる」.....	6
3 目標3「親が安心して子育てできる」.....	8
4 目標4「子ども自身が自分のこころとからだの健康を考え、行動できる」.....	10

## 第4章 評価及び今後の取り組みの方向性

1 評価.....	12
2 今後の取り組みの方向性.....	12

## 資 料

母子保健計画策定委員名簿.....	13
-------------------	----

## 第1章 「母子保健計画」の基本的事項

### 1. 基本理念・基本方針

#### (1) 基本理念

「すべての親と子が 健やかに育つまち 新庄」

すべての親子が健康・安全に生活でき、健やかに育つことのできる社会を目指します。

#### (2) 基本方針

##### 目標1 妊婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えることができる

健やかな妊娠・出産期を過ごすためには、正しい知識を持ち、適切な行動をとることが大切です。必要な知識を得ることができるとともに、安心・安全な妊娠・出産・育児のため、切れ目のない支援の充実を図ります。

##### 目標2 子どもが健やかに育つことができる

幼少期から正しい生活習慣を築くことができるように支援を行います。また、遊び等を通して、子どものこころとからだの発達、親子の愛着を育むことができるように支援します。

##### 目標3 親が安心して子育てできる

子育て中の不安を軽減し、ゆったりとした気持ちで子どもとかわることができるよう支援体制を整え、子育てに寄り添う支援を行います。また、児童虐待を防止するため、安心して子育てができるように育児不安への早期対応を行います。

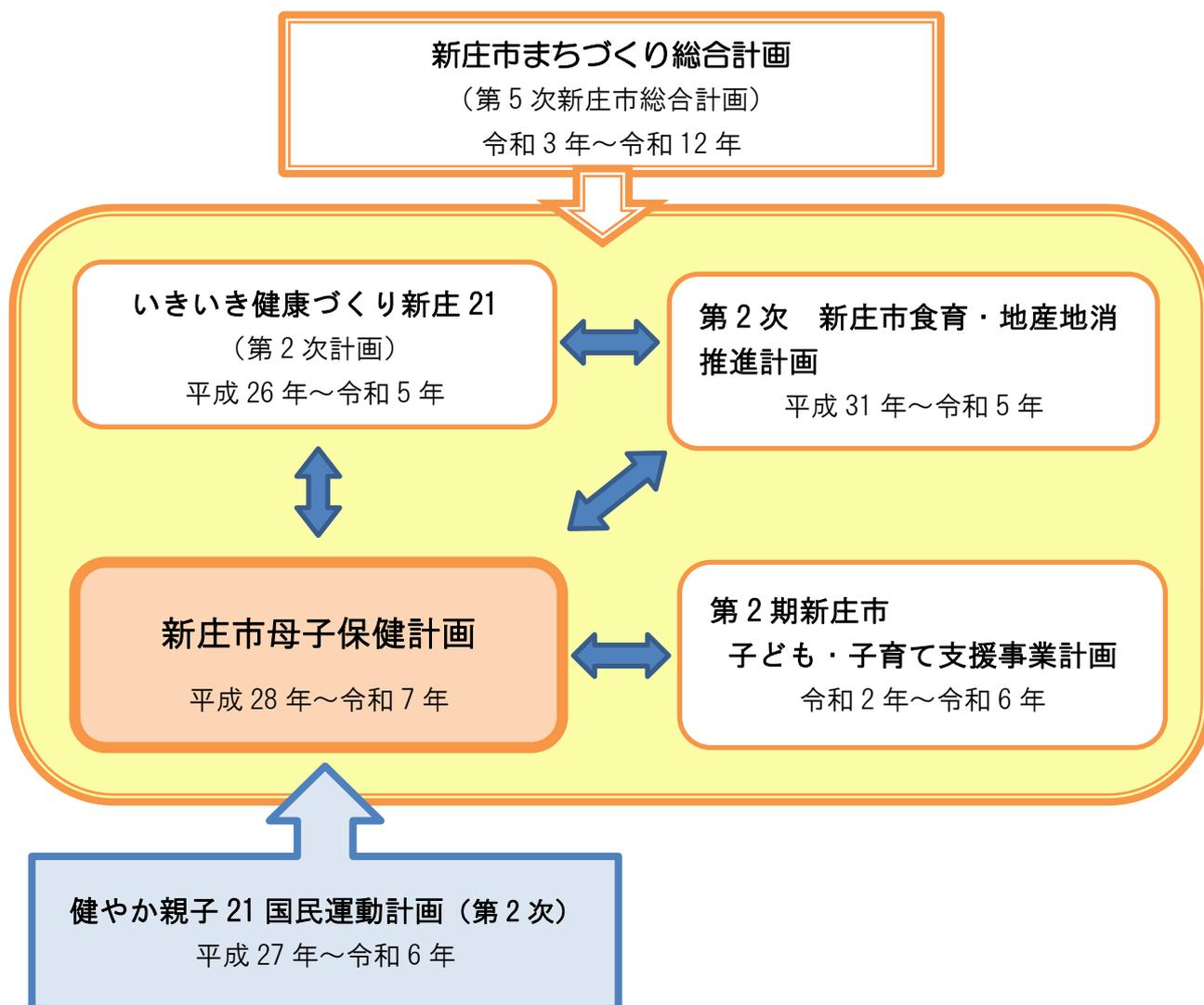
##### 目標4 子ども自身が自分のこころとからだの健康を考え、行動できる

児童・生徒が心身の健康に関心を持ち、主体的に行動できるように支援します。また、将来へのイメージを描くことができるように支援します。

## 2. 計画の体系

この計画は、「健やか親子 21 国民運動計画（第 2 次）」で示された課題や指標などに基づき、母子保健施策をより効果的に推進していくための実施計画です。

また、「いきいき健康づくり新庄 21（第 2 次計画）」および「子ども・子育て支援事業計画」等、他の計画との整合性を図るものとします。



## 3. 計画の期間

本計画は、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間を計画期間としており、令和 2 年度に中間評価を行います。

## 第2章 中間評価の実施内容

### 1. 目的

本計画では計画期間の中間年度にあたる令和2年度に中間評価と内容の見直しを行い、また、最終年度の令和7年度に最終評価を実施いたします。このため、これまでの取り組み、目標値の達成状況等を確認し評価を行うことにより、本計画の目標達成に向け、今後、重点的に取り組むべき事項を明確にし、令和3年度からの後期5年間の効果的な施策展開を図るものです。

### 2. 方法

令和2年度に実施した「いきいき健康づくりアンケート」<sup>注1</sup>のほか、母子保健事業の実績等により、目標値の進捗状況からAからEの区分で評価しました。

A	順調	計画策定時の値より改善しており、目標値に向けて順調に進んでいる、または目標値を達成しているもの
B	おおむね順調	計画策定時の値より改善しており、おおむね順調に進んでいるもの
C	やや遅れ	計画策定時の値より改善していない（横ばい）、または改善しているが、目標値に向けて遅れているもの
D	遅れ	計画策定時の値よりも悪化しているもの
E	評価困難	設定した指標又は把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

注1) 「いきいき健康づくりアンケート」 令和2年6月～令和2年11月  
調査対象者：中学生 319人  
回答者数： 220人（回収率 69.0%）

## 第3章 施策の展開別の中間評価

### 目標1 妊婦やその家族が安心して

### 妊娠・出産を迎えることができる

#### ① これまでの取り組み

- ・支援が必要な妊婦を、妊婦連絡票などにより医療機関と連携し支援を実施。
- ・母子健康手帳の交付、赤ちゃん訪問、乳幼児健診等での受動喫煙防止に関する知識の普及啓発、禁煙指導の実施。

#### ② 評価

- ・満11週までの妊娠届出の割合は4.3ポイント増加している。届出は仕事を休めないなどの理由により遅くなる場合があるが、満11週までの診断の割合は95.0%以上を維持している。
- ・妊娠中の女性の喫煙率は禁煙指導により大きく減少しており1.0%となっている。しかし、夫や家族の喫煙により禁煙の継続ができにくい環境にあり、出産後再喫煙に至る場合がある。
- ・飲酒している妊婦は、3.1ポイント減少し、0.5%となっている。
- ・家庭の中で喫煙者がいる割合は11.3ポイント減少しているが、未だ乳児のいる家庭の半数以上で喫煙者がいる状況で、目標値には至っていない。

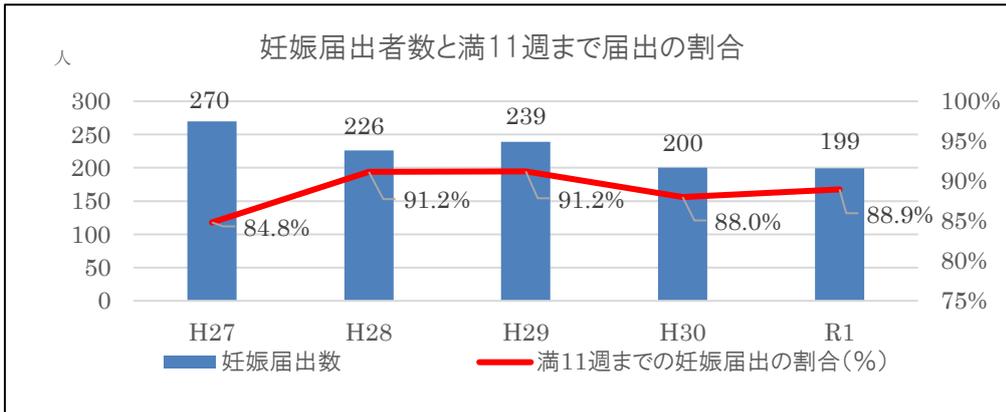
項目	策定時	達成状況 R1	中間 評価	目標値
満11週までの妊娠届出の割合	84.6%	88.9%	B	90%
喫煙している妊婦の割合	6.2%	1.0%	B	0%
飲酒している妊婦の割合	3.6%	0.5%	B	0%
家庭で喫煙者がいる割合（4か月児）	64.6%	53.3%	B	50%

#### ③今後の対策

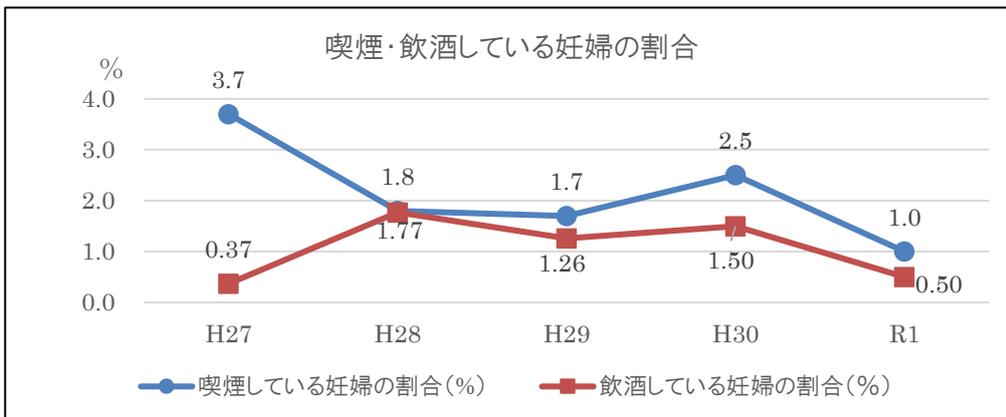
- ・医療機関と連携して要支援妊婦への支援を継続する。
- ・妊娠中の喫煙は、胎児の発育を妨げ、低出生体重児増加の要因になることから、母子健康手帳交付時の禁煙指導を継続する。
- ・妊娠中の飲酒は、妊婦自身の妊娠合併症のリスクを高めるだけでなく、胎児の発育障害等の悪影響を引き起こすことから、母子健康手帳交付時の禁酒指導を継続する。
- ・妊娠前から、喫煙や飲酒が妊婦自身や胎児に悪影響を及ぼすことを広報等を通じて周知する。

# 目標 1 資料

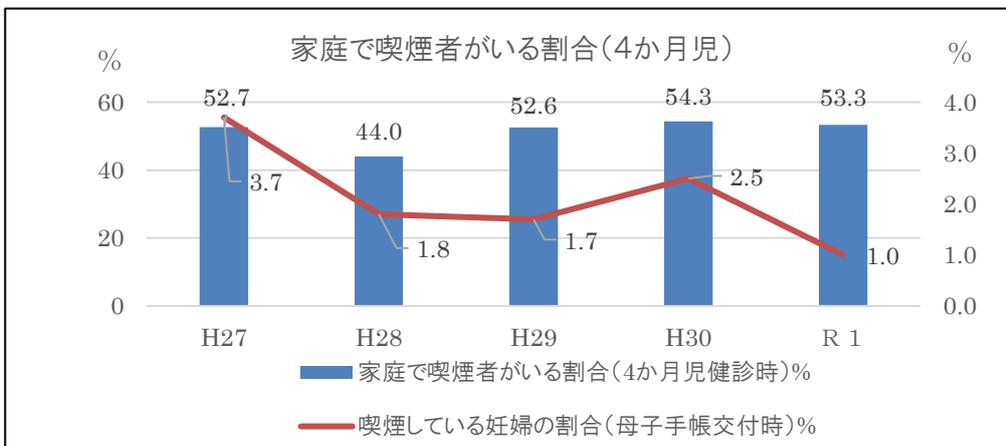
医療機関での妊娠届出書発行時の妊娠週数							
	届出総数	～11週	12-19週	20-27週	28週～	分娩後	不詳
H27	270	257(95.2%)	8	4	1	0	0
H28	226	220(97.3%)	5	0	1	0	0
H29	239	230(96.2%)	7	1	1	0	0
H30	200	190(95.0%)	9	1	0	0	0
R1	199	189(95.0%)	6	4	0	0	0



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート



出典：新庄市 母子手帳交付時アンケート 乳幼児健康診査

## 目標2 子どもが健やかに育つことができる

### ① これまでの取り組み

- ・テレビやスマートフォン、タブレットといったメディアが子どもの発育発達に及ぼす影響を乳幼児健診時に指導。
- ・1歳6か月児健診及び2歳児歯科健診時にフッ化物歯面塗布、ブラッシング指導を実施しむし歯予防を推進。
- ・口腔衛生意識普及向上事業「お祭り歯っぴい」のイベントや8020運動を通し、むし歯予防、保護者の歯周疾患予防についての普及啓発。
- ・歯と口の健康週間において、健康だよりや広報でむし歯予防について周知。

### ② 評価

- ・10時以降に就寝する3歳児の割合、テレビを2時間以上視聴する3歳児の割合は改善し目標値をほぼ達成している。
- ・定期的な歯科検診や保健指導により、3歳児のむし歯のない割合は9.3ポイント上昇し、目標値をほぼ達成している。
- ・2回以上間食する割合は2.8ポイント増加しており、休日に回数が増える傾向がある。

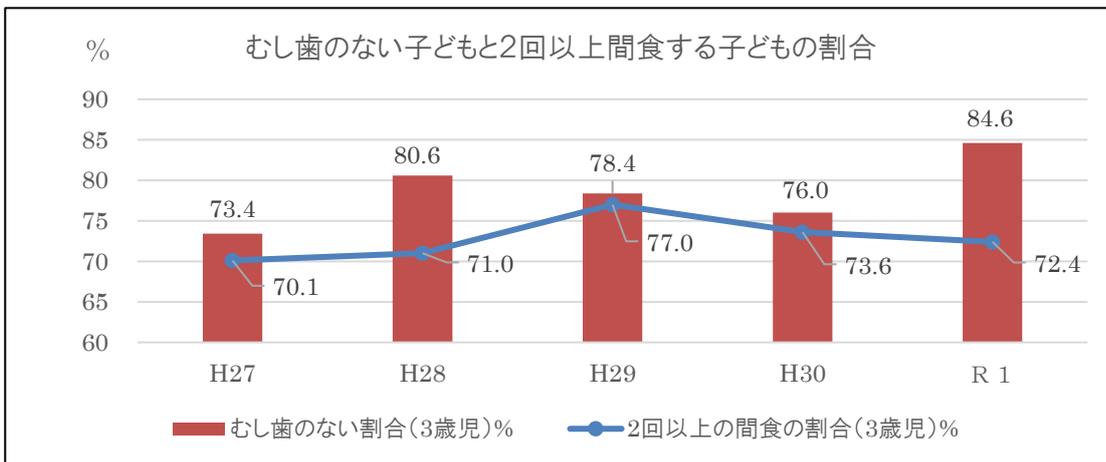
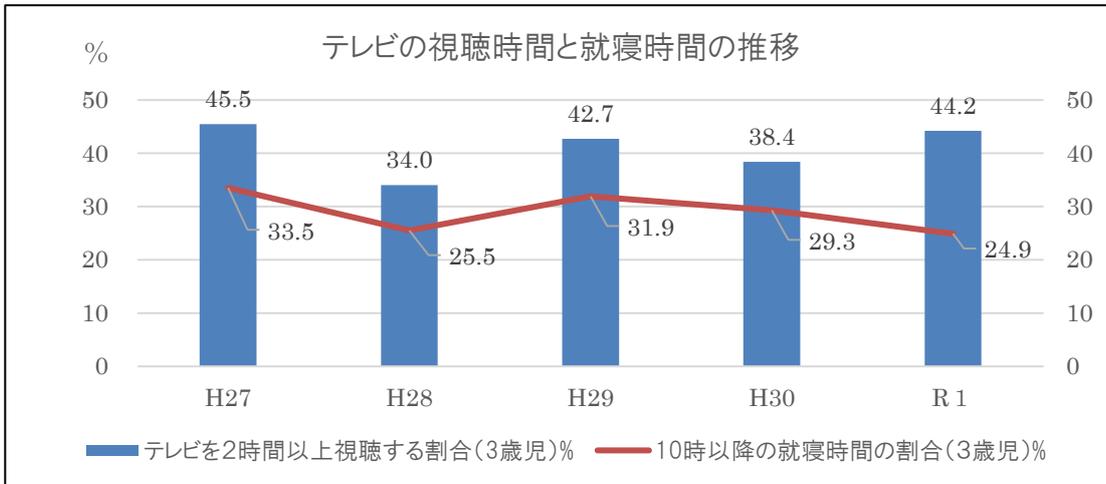
項目	策定時	達成状況 R1	中間 評価	目標値
10時以降の就寝時間の割合(3歳児)	35.8%	24.9%	A	30%
テレビを2時間以上視聴する割合(3歳児)	51.3%	44.2%	A	45%
むし歯のない割合(3歳児)	75.3%	84.6%	A	85%
2回以上の間食の割合(3歳児)	69.6%	72.4%	D	50%

### ③ 今後の対策

- ・保育所や幼稚園と連携し、望ましい生活習慣や食生活、歯磨き習慣等の取り組みを推進する。
- ・間食の回数がむし歯リスクにつながることで、おやつの種類や量についての正しい知識の普及啓発のため、乳幼児健診や兄弟のいる家庭の赤ちゃん訪問等で保健指導を実施する。
- ・3歳児健診での肥満リスク者※(3歳時点でのBMI値が1歳6か月時点よりも高くなっている児)への栄養指導の実施を継続する。(H30.12月～)

※子どもの場合、出生時にBMI値(体重kg÷身長m÷身長m)は高く、徐々に低くなり5-6歳で跳ね返るように上昇する。このリバウンドの時期が早いほど、将来肥満や生活習慣病になりやすい。

## 目標2資料



肥満リスク者割合(3歳児)			
	受診児数	肥満リスク者数 BMI=1.6歳<3歳	割合(%)
平成30年(12月~3月)	81	18	22.2
令和元年度	221	45	20.4

出典：新庄市 乳幼児健康診査

## 目標3 親が安心して子育てできる

### ① これまでの取り組み

- ・乳幼児相談、すこやかこども相談、産前産後サポート事業を通じての個別相談の実施。
- ・支援が必要と判断したケースは、新庄市子育て世代包括支援センター（平成30年4月開設）が支援計画を作成し、関係機関と連携しながら切れ目なく支援を実施。
- ・子育て推進課や保育所・幼稚園等と連携し、発育発達の気になる幼児や要保護児童等のフォロー、さらに医療機関への受診勧奨や巡回相談を活用し経過観察を実施。

### ② 評価

- ・3歳児の母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合は7.7ポイント減少。市の共働き率は58.8%と全国の47.6%と比べて10ポイント以上高い。仕事に加え、家事・育児に関する女性の負担が多い事が考えられる。また、ひとり親世帯数も年々増加しており、核家族世帯のうち9.86%がひとり親である。（H27国勢調査・人口等基本集計結果報告書）
- ・子どもに対して育てにくさを感じる3歳児の母親は6.3ポイント増加。出生数は減少する一方で、養育支援が必要なケースは増加しており、専門的な支援を必要とするケースが増えている。
- ・麻疹風疹I期接種率は、1歳3か月過ぎに未接種者に接種勧奨のハガキを送付しており、意識づけの効果により接種率が増加した。

項目	策定時	達成状況 R1	中間 評価	目標値
母親がゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合（3歳児）	73.2%	65.5%	D	85%
子どもに対して育てにくさを感じる割合（3歳児）	27.3%	33.6%	D	20%
麻疹風疹I期の接種率（1歳6か月児）	89.5%	95.7%	B	100%

### ③ 今後の対策

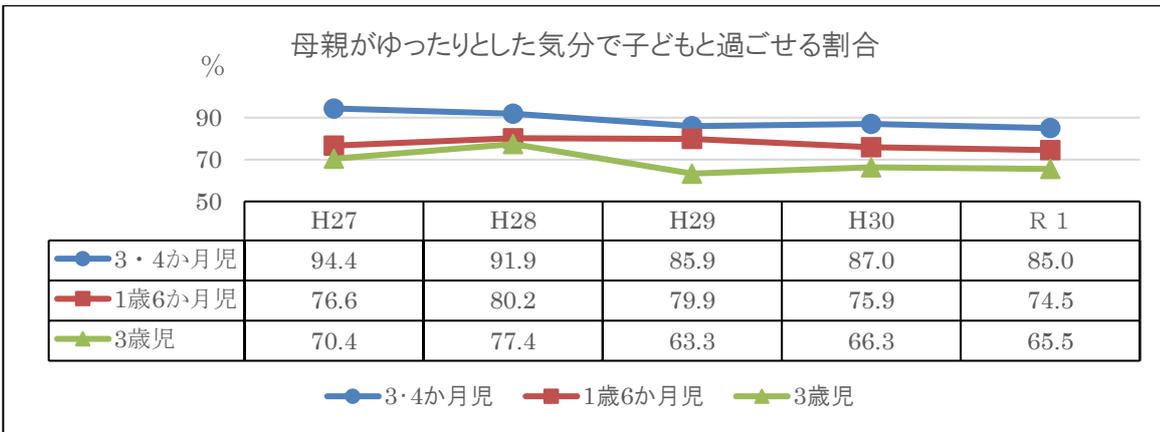
- ・支援の必要なケースは複数の問題を抱えていたり、長期化する場合も多く、より複雑化・個別化してきている。乳幼児健診や各種相談事業の機会を捉え、保護者の気持ちに寄り添った支援を提案し、継続していく。
- ・赤ちゃん訪問や乳幼児健診の際に、「ママと赤ちゃんルーム」「乳幼児相談」「すこやかこども相談」等保護者が気軽に相談できる場があることを周知し、利用をすすめる。
- ・新庄市子育て世代包括支援センターの機能を活用し、子育て推進課、医療機関等の関係機関と連携し、切れ目のない支援を行っていく。

# 目標3 資料

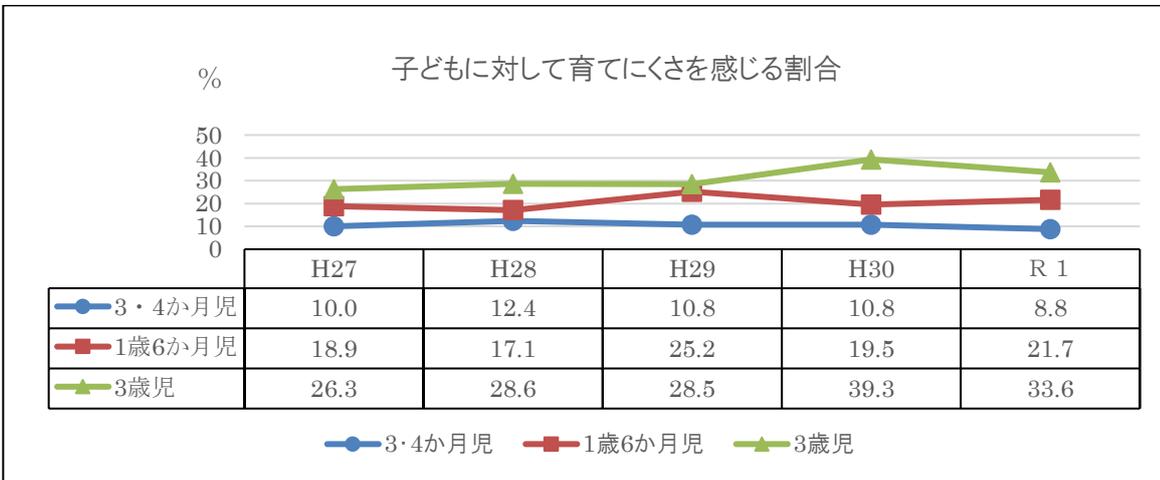
世帯構成の変化

調査年	世帯数	単独世帯		核家族世帯			三世代世帯		その他の親族世帯等		
		構成率	構成率	内、ひとり親世帯		構成率	構成率	構成率			
				構成率	構成率						
平成7	12,650	2,428	19.20	5,865	46.36	796	6.29	3,303	26.11	1,054	8.33
平成12	13,042	2,691	20.63	6,098	46.76	920	7.05	3,000	23.00	1,253	9.61
平成17	12,913	2,790	21.61	6,053	46.87	1,008	7.81	3,204	24.81	866	6.71
平成22	12,958	3,081	23.78	6,143	47.41	1,194	9.21	2,823	21.78	911	7.03
平成27	12,878	3,344	26.00	6,213	48.25	1,270	9.86	2,403	18.66	918	7.13

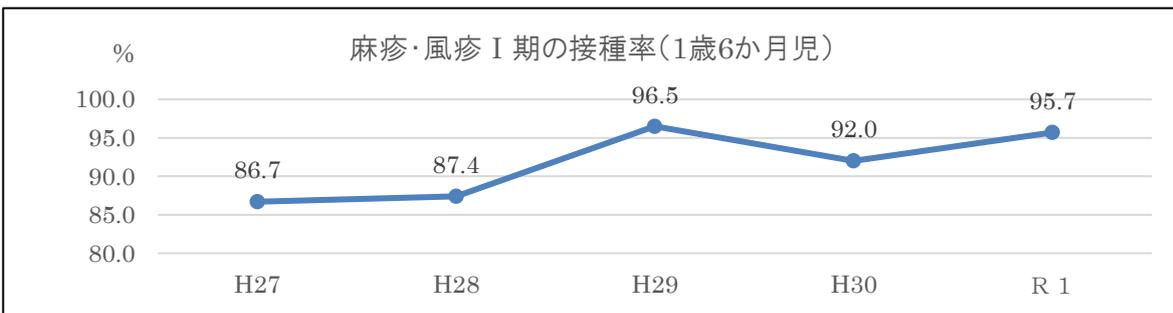
資料：国勢調査・人口等基本集計結果報告書



出典：健やか親子 21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目



出典：健やか親子 21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目



出典：健やか親子 21（第2次）の指標 乳幼児健康診査必須項目

## 目標4 子ども自身が自分のところからだの

### 健康を考え、行動できる

#### ① これまでの取り組み

- ・喫煙や受動喫煙に関する健康への悪影響を、広報や健康だよりで啓発。
- ・地区公民館等での受動喫煙防止を推進するため、健康教育や出前講座を実施。
- ・イベント等で受動喫煙防止についての啓発活動の実施。
- ・中学校ごとに薬物乱用防止教室を開催し、警察や薬剤師など外部講師による指導を毎年実施。
- ・保健教科での指導と共に、ポスター掲示や文科省のパンフレットを活用した普及啓発。

#### ② 評価

- ・タバコを「たぶん吸う」「絶対吸いたい」と回答した中学生の割合は1.8%と大幅に減少している。喫煙の害について「知っている」との回答がH25と比べ16.0ポイント増えており、喫煙による健康被害に関する知識の普及が進んでいる。また、受動喫煙防止に関しては環境整備が進んでいる。
- ・薬物を断ることができる中学生の割合は2.3ポイント増加。「できない」または「わからない」との回答は14.7%から14.5%とほぼ変わらず、薬物に関する知識の普及啓発が必要である。
- ・性感染症の予防については、中学生で「知っている」と回答した割合が3.2ポイント減少。感染症予防の他、望まない妊娠を避けるためにも正しい知識の普及啓発が必要である。

項目（すべて中学生）	策定時	達成状況 R1	中間 評価	目標値
タバコを吸いたいと思う割合	6.7%	1.8%	B	0%
薬物を勧められたら断ることができると答える割合	81.3%	83.6%	B	100%
コンドームはエイズや性感染症の予防になることを知っている割合	32.2%	29.0%	D	60%

#### ③ 今後の対策

- ・国や県の受動喫煙防止キャンペーンや薬物防止キャンペーンの広報、健康教育等での周知を行う。
- ・学校や保育園、健康福祉推進員等の地区組織と連携を図りながら健康教育を実施し、子供や非喫煙者の受動喫煙防止を推進する。
- ・若い世代がより良い健康行動を選択するための環境を整備するため、公共施設や地域家庭での受動喫煙対策を徹底し、禁煙外来医療機関と連携した普及啓発活動を実施する。
- ・中学生に性感染症に関する正しい知識を普及啓発するためのパンフレットを配布する。

## 目標 4 資料

大人になったらタバコを吸いたいと思いますか		<p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絶対に吸わない (74.2%)</li> <li>たぶん吸わない (13.6%)</li> <li>たぶん吸う (8.6%)</li> <li>絶対吸いたい (0.9%)</li> <li>わからない (0.9%)</li> <li>無回答 (1.8%)</li> </ul>						
絶対に吸わない	163							
たぶん吸わない	30							
たぶん吸う	2							
絶対吸いたい	2							
わからない	19							
無回答	4							
合計	220							
シンナー・麻薬・覚せい剤などに誘われたら断ることができますか		<p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>できる (83.7%)</li> <li>できない (5.0%)</li> <li>わからない (9.5%)</li> <li>無回答 (1.8%)</li> </ul>						
できる	184							
できない	11							
わからない	21							
無回答	4							
合計	220							
エイズや性感染症の予防にコンドームが有効であることを知っていますか		<p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知っている (29%)</li> <li>知らない (69%)</li> <li>無回答 (2%)</li> </ul>						
知っている	63							
知らない	152							
無回答	5							
合計	220							
【調査期間】 令和 2 年 6 月～ 1 1 月	【調査方法】 学校に依頼	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>在籍数</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>回収</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>69.0%</td> </tr> </tbody> </table>	在籍数	319	回収	220	回収率	69.0%
在籍数	319							
回収	220							
回収率	69.0%							
【対 象】 新庄市立中学校 2 年生								

## 第4章 評価及び今後の取り組みの方向性

### 1. 評価

目標	指標数	進捗状況				
		A	B	C	D	E
		順調	おおむね順調	やや遅れ	遅れ	評価困難
1. 妊婦やその家族が安心して妊娠出産を迎えることができる	4		4			
2. 子どもが健やかに育つことができる	4	3			1	
3. 親が安心して子育てできる	3		1		2	
4. 子ども自身が自分のこととからだの健康を考え、行動できる	3		2		1	
計	14	3	7	0	4	0
	100%	21.4%	50.0%	0%	28.6%	0%

14指標のうち、10指標（71.4%）で、現状値が策定時の値より改善し、目標値に向けて「順調」または「おおむね順調」に進捗していると評価しました。

しかし、進捗状況が十分でなく、または悪化しているために「遅れ」と評価した指標も4指標（28.6%）ありました。

後期の5年間では、重点的な取り組み分野を、特に進捗が遅れている「親が安心して子育てできる」の分野とし、今後の対策を実施することで、目標達成に向けさらに推進していきます。

### 2. 今後の取り組みの方向性

計画の後期については、第5次新庄市総合計画のまちづくりの柱である「子どもの笑顔があふれるまち」を目指し、いきいき健康づくり新庄21（第2次）、第2期新庄市子ども・子育て支援事業計画、第2次食育・地産地消推進計画等の各種計画との整合性を図るとともに、関係機関及び関係団体と連携し、子どもが健やかに育ち、親が安心して子育てできるよう対策を進めていきます。

新庄市母子保健計画策定委員会 委員名簿

所属名及び役職名	氏 名
新庄市最上郡医師会	三 條 加 奈 子
最上地区私立幼稚園協会	福 澤 真 由 美
山形県立新庄病院 助産師	中 鉢 和 江
NPO 法人はぐくみ保育園	中 鉢 祐 子
新庄市子育て支援センター	菅 律 子
新庄市養護教諭部会部長	佐 久 間 理 恵
最上保健所 子ども家庭支援課 母子保健専門員	高 橋 桂 子

(敬称略・順不同)

**「新庄市母子保健計画」**

**(中間評価)**

**令和3年3月**

**編集・発行 新庄市健康課**

〒996-8501 山形県新庄市沖の町 10-37

電 話 0233-22-2111 (代)

F A X 0233-22-0989